

## 宝福寺

このお寺は奥湯谷下集会所の下隣りに位置し、米堂（よなどう）と呼ばれている。米堂はこの背後にある米山城の（寛治四年―一〇九〇年に築城）城主、米山弾正延宣が位牌寺として建立したという。永祿年間（一五六〇年代）と伝えられているが定かではない。長栄寺の末庵と称していた。本尊は聖観音（しようかんのん）であり、行基の作と伝えられているが昭和年代に、ある人が鑑定に出したが定まらなかったという。（平成末に県の専門職員に鑑定してもらった結果、造られた時代は室町、作者は行基ではなくおそらく無名の地元人、観音像はあとからつけられた部分もあって歴史的価値のあるものとはいえないのと）

棟札には、この観音は誠に靈驗あらたかで、願いをかければ成就せざることを無しと記されている。



一、本堂改築 寛政五年十月十七日

本願 安部藤四郎

仏壇施主 安部本右門

（長栄寺第十六世 隆田和尚の時）

一、本改築百五歳供養 昭和八年七月

本願、世話人 尚組中

（長栄寺第十六世玄量和尚の時）

一、堂宇改築遷座 昭和四十五年十一月

本願 奥湯谷中

（長栄寺第十六世玄量和尚の時）

今も地元の人々によって、供養がなされている。